

Press Release

報道関係者各位

平成 18 年 2 月 11 日

株式会社 IRI コビテック

次世代インターネットプロトコル(IPv6)対応 Building eXchange(BX)を製品化 慶應藤沢イノベーションビレッジに納入決定

株式会社 IRI コビテック(本社:東京都新宿区西新宿、代表取締役社長:荻野 司、以下「コビテック」)は、松下電工株式会社(本社:大阪府真門市、代表取締役社長:畑中 浩一、以下「松下電工」)と共同で開発した次世代インターネットプロトコル(IPv6)対応の Building eXchange(以下、「BX」)を製品化し、この度、慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス、慶應藤沢イノベーションビレッジの施設に正式採用されました。本年 3 月から IPv6 対応省エネ照明制御システムとして稼働を開始致します。

BX は、松下電工の E MIT 技術に準拠した設備系ネットワークシステム「エミットマイクロホームページ」の一環をなすものです。「エミットマイクロホームページ」は“つながる” “組み合わせられる” “拡充できる”ことを特長としており、省エネ、セキュリティ、リモート監視などの分野で展開され、既にビル管理やマンション、住宅などの照明や空調制御で実績を挙げています。

この BX は、次世代ネットワークプロトコル(IPv6)に対応し、ビル管理における照明、空調などの各種センサーネットワーク・ゲートウェイ機能を提供し、建物の中の設備(今回の例では照明器具)を一つ一つ直接 IP アドレス(IPv6)によって制御できる仕組みを提供しています。

過去にもインターネットを利用した照明制御システムは幾つかありましたが、BX のように IPv6 アドレス単位にグローバル特定可能な形で管理できるシステムを製品化したケースは、他に例を見ません。今回の BX の稼働により、今後、機器すべてを直接 IP 接続することができる、しかもそれは IPv6 という新たなプロトコルを使ってできることが証明されます。

BX の主な機能として、先に述べた IPv6 によるインターネット接続により以下を実現致しました。

(1)侵入者通知機能

セキュリティ監視中に室内に侵入者が発生した場合、それを感知しあらかじめ登録された連絡先(メールアドレス)に通知する機能

(2)室内確認機能

遠隔地においても、インターネット経由で照明の ON / OFF 制御を行う機能。

(またインターネット経由で室内をモニタリングすることも可能。遠隔操作はインターネット対応の携帯電話から行うことも可能。)

(3)在室確認機能

熱線による人感センサによって、人の在室、不在を検知する機能。

「在室検知機能」によって検知された状態を遠隔から確認できる機能。

更に、BX は IPv4 / IPv6 デュアル対応となっています。これは、BX 開発にあたって、BX がどのようなインターネット環境にあってもグローバル管理可能とするために、ユビテックが、本サービスのための IPv6 アドレスの取得を行い、IPv4(現在使われているインターネットプロトコル)環境でも IPv6 通信ができる仕組みを組み込んでいるからです。BX なら IPv4 から IPv6 へのスムーズな移行が可能となっています。

BX の試作機は平成 16 年 11 月 16 日から 18 日、東京国際フォーラムにおいて開催された Global IP Business Exchange に松下電工と共同出展をしております。その後、松下電工とユビテックにおいて試作機の改良を重ね、この度出荷の運びとなりました。

(参考プレスリリース: <http://www.iri.co.jp/jp/pressrelease/2004/041115.html>)

尚、この BX は、製品化完了と同時に IPv6 普及・高度化推進委員会が主催する IPv6 アプリコンテスト 2005 に応募し、IPv6 対応製品としての認知度を高めたいと考えております。また、政府機関の IPv6 対応への移行等も見据え、更なる高機能化商品への展開を検討予定です。

(IPv6 アプリコンテスト 2005 URL: <http://www.v6pc.jp/apc/jp/>)



(写真 1: BX 正面)



(写真 2: BX 背面)

【本件に関するお問合せ先】

株式会社 IRI ユビテック 担当: 管理本部 経営企画課
電話: 03-3344-7511 FAX: 03-3344-7522
press@ubiteq.co.jp